



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月18日

上場会社名 ソーダニッカ株式会社  
 コード番号 8158 URL <http://www.sodanikka.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長洲 崇彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 宮本 隆博

TEL 03-3245-1803

定時株主総会開催予定日 2020年6月23日

配当支払開始予定日

2020年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	99,749	4.4	1,030	25.1	1,298	22.9	840	24.8
2019年3月期	104,319	6.2	1,376	9.7	1,683	12.2	1,118	14.6

(注) 包括利益 2020年3月期 253百万円 ( %) 2019年3月期 242百万円 ( 87.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	33.67		3.5	2.1	1.0
2019年3月期	44.83		4.7	2.7	1.3

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	58,467	23,389	40.0	936.51
2019年3月期	63,001	23,971	38.0	961.12

(参考) 自己資本 2020年3月期 23,389百万円 2019年3月期 23,971百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,657	230	383	10,171
2019年3月期	2,178	245	328	9,136

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		7.00		7.00	14.00	349	31.2	1.5
2020年3月期		7.00		7.00	14.00	349	41.6	1.5
2021年3月期(予想)								

(注)2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。今後、配当予想の開示が可能となった段階で速やかに開示いたします。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点において合理的に算定することが困難であるため、未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに開示いたします。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	25,168,000 株	2019年3月期	25,168,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	192,677 株	2019年3月期	226,176 株
期中平均株式数	2020年3月期	24,964,886 株	2019年3月期	24,941,824 株

(注)詳細は、決算短信(添付資料)14ページ「3.連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項(1株当たり情報)をご覧ください。

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	97,476	4.4	1,050	23.3	1,324	20.8	683	36.1
2019年3月期	101,932	6.4	1,369	8.7	1,671	10.5	1,069	5.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	27.38	
2019年3月期	42.87	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	57,902		23,162		40.0		927.43	
2019年3月期	62,557		23,931		38.3		959.50	

(参考) 自己資本 2020年3月期 23,162百万円 2019年3月期 23,931百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点において合理的に算定することが困難であるため、未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに開示いたします。なお、詳細につきましては、決算短信(添付資料)4ページ「経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況.....	2
(2) 当期の財政状態の概況.....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況.....	4
(4) 今後の見通し.....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表.....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により緩やかな回復基調で推移していたものの、通商問題や中国経済の先行きに対する懸念や新型コロナウイルスの流行による世界経済の停滞が懸念されるなど、日本国内における製造業の生産や輸出は慎重な姿勢が続いておりました。

当社グループに関係の深い業界につきましても、同様に生産に慎重な姿勢が見られました。

このような環境の下、当社グループにおきましては、当連結会計年度より新中期経営計画「Go forward STAGE 2」を始動させ、将来の飛躍に向けた成長軌道を切り開くことを目標とし、国内市場においては収益基盤の徹底強化を図るとともに、新たなビジネスチェーンの構築を目指し、海外市場においては中国・ASEAN 地域における、更なる市場の開拓を図っております。これらの基本方針を掲げ、事業活動に注力してまいりましたが、当連結会計年度は主力商品のか性ソーダをはじめとする市況変動の影響を受けました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高 997 億 4 千 9 百万円（前期比 4.4%減）、営業利益 10 億 3 千万円（同 25.1%減）、経常利益 12 億 9 千 8 百万円（同 22.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益 8 億 4 千万円（同 24.8%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

### 化学品事業

無機薬品につきましては、主力商品のか性ソーダは市況の下落及び取扱数量の減少により減収となりました。その他の商品では次亜塩素酸ソーダが市況の回復により、またマンガン化合物が輸出の増加により増収となりましたが、水酸化マグネシウム及び塩素酸ソーダは取扱数量の減少により減収となりました。

有機薬品につきましては、フロン溶剤が洗浄剤用途で好調であったことにより、また加工でんぷん類が取扱数量の増加により増収となりましたが、その他の石油化学製品は需要が振るわず減収となりました。

この結果、化学品事業といたしましては、売上高は前期に比べ 2.3%減の 748 億 2 千 6 百万円、セグメント利益（営業利益）は前期に比べ 4.2%減の 24 億 7 千 9 百万円となりました。

### 機能材事業

包装材料につきましては、ポリプロピレンフィルム及びナイロンフィルムは中国向け輸出の好調により増収となりましたが、複合フィルムは取扱数量の減少により減収となりました。

合成樹脂につきましては、工業用製品が中国向け輸出の好調により増収となりましたが、ポリエチレン樹脂は市況の悪化により減収となりました。

機器類につきましては、機械器具設置工事は増収となりましたが、電気関連機器及び包装関連機器は大型案件の減少により減収となりました。

この結果、機能材事業といたしましては、売上高は前期に比べ 10.7%減の 225 億 8 千 1 百万円、セグメント利益（営業利益）は前期に比べ 17.4%減の 5 億 2 千 4 百万円となりました。

### その他事業

その他事業につきましては、売上高は前期に比べ 4.8%減の 23 億 4 千 2 百万円、セグメント利益（営業利益）は前期に比べ 37.5%減の 4 千 9 百万円となりました。

## セグメント別販売実績

(単位：百万円・%)

期別 事業別	前連結会計年度 (2019年3月期)		当連結会計年度 (2020年3月期)		比較増減
	金額	構成比	金額	構成比	金額
化学品事業	76,576	73.4	74,826	75.0	△1,750
機能材事業	25,283	24.2	22,581	22.6	△2,701
その他事業	2,460	2.4	2,342	2.4	△117
合計	104,319	100	99,749	100	△4,570

## 品目別販売実績

(単位：百万円・%)

期別 商品別	前連結会計年度 (2019年3月期)		当連結会計年度 (2020年3月期)		比較増減
	金額	構成比	金額	構成比	金額
ソーダ製品	23,896	22.9	22,230	22.3	△1,665
ソーダ二次製品	8,097	7.8	8,245	8.3	147
その他無機薬品	23,620	22.6	23,096	23.1	△524
無機薬品計	55,615	53.3	53,572	53.7	△2,043
有機薬品	15,911	15.3	15,970	16.0	58
合成樹脂	19,951	19.1	19,822	19.9	△129
機器・材料	6,330	6.1	4,096	4.1	△2,234
資源リサイクル・処理剤	3,223	3.1	3,119	3.1	△103
その他	3,287	3.1	3,168	3.2	△118
合計	104,319	100	99,749	100	△4,570

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は前連結会計年度末に比べ45億3千4百万円減少いたしました。

増減の主なものは資産の部では、受取手形及び売掛金が45億1千3百万円減少いたしました。負債の部では、支払手形及び買掛金が35億8千7百万円減少いたしました。純資産の部では、その他有価証券評価差額金が11億2千6百万円減少いたしました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローは、現金及び現金同等物が101億7千1百万円となり、前連結会計年度末より10億3千5百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、16億5千7百万円の収入となりました。これは、税金等調整前当期純利益が13億7百万円でありましたが、売上債権の減少が45億1千7百万円、仕入債務の減少が35億8千7百万円、法人税等の支払額が5億3千9百万円となったこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億3千万円の支出となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出2億3千万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億8千3百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払額3億4千9百万円によるものであります。

なお、キャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
自己資本比率 (%)	39.3	41.0	38.6	38.0	40.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	22.1	22.9	30.5	22.8	25.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	2.9	3.4	12.5	2.6	3.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ	38.4	38.2	11.1	60.6	45.4

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務諸表により算出しております。

※株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

### (4) 今後の見通し

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界規模で拡大している影響により、現時点では合理的な業績予想の算出が困難であるため、未定とさせていただきます。今後、業績への影響を慎重に見極め、合理的な予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準により連結財務諸表を作成しております。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえ、検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,281	10,323
受取手形及び売掛金	38,011	33,497
商品及び製品	1,131	1,204
その他	513	1,041
貸倒引当金	△33	△25
流動資産合計	48,904	46,041
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	439	408
車両運搬具（純額）	9	5
土地	1,087	1,087
その他（純額）	126	143
有形固定資産合計	1,663	1,644
無形固定資産	409	371
投資その他の資産		
投資有価証券	11,338	9,752
その他	702	664
貸倒引当金	△17	△7
投資その他の資産合計	12,023	10,409
固定資産合計	14,097	12,425
資産合計	63,001	58,467

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,508	25,921
短期借入金	5,071	5,040
未払法人税等	287	248
賞与引当金	263	290
役員賞与引当金	34	30
損害補償損失引当金	-	41
その他	662	816
流動負債合計	35,827	32,388
固定負債		
繰延税金負債	1,406	923
再評価に係る繰延税金負債	194	194
退職給付に係る負債	1,071	1,059
長期預り保証金	523	505
その他	7	6
固定負債合計	3,202	2,688
負債合計	39,029	35,077
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,762	3,762
資本剰余金	3,130	3,140
利益剰余金	12,607	13,098
自己株式	△64	△54
株主資本合計	19,435	19,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,417	3,291
繰延ヘッジ損益	△0	1
土地再評価差額金	148	148
為替換算調整勘定	27	18
退職給付に係る調整累計額	△55	△16
その他の包括利益累計額合計	4,536	3,442
純資産合計	23,971	23,389
負債純資産合計	63,001	58,467



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)
売上高	104,319	99,749
売上原価	97,342	93,089
売上総利益	6,977	6,660
販売費及び一般管理費	5,600	5,629
営業利益	1,376	1,030
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	271	296
その他	87	44
営業外収益合計	363	344
営業外費用		
支払利息	36	38
売上割引	6	11
その他	14	28
営業外費用合計	57	77
経常利益	1,683	1,298
特別利益		
投資有価証券売却益	-	67
特別利益合計	-	67
特別損失		
会員権評価損	-	15
損害補償損失引当金繰入額	-	42
特別損失合計	-	57
税金等調整前当期純利益	1,683	1,307
法人税、住民税及び事業税	543	503
法人税等調整額	21	△36
法人税等合計	565	467
当期純利益	1,118	840
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1,118	840

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,118	840
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△825	△1,126
繰延ヘッジ損益	3	2
為替換算調整勘定	△43	△8
退職給付に係る調整額	△9	38
その他の包括利益合計	△875	△1,093
包括利益	242	△253
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	242	△253
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,762	3,130	11,838	△64	18,666
当期変動額					
剰余金の配当			△349		△349
親会社株主に帰属する当期純利益			1,118		1,118
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	768	△0	768
当期末残高	3,762	3,130	12,607	△64	19,435

	その他の包括利益累計額						純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	5,242	△4	148	71	△46	5,411	24,078
当期変動額							
剰余金の配当							△349
親会社株主に帰属する当期純利益							1,118
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△825	3	—	△43	△9	△875	△875
当期変動額合計	△825	3	—	△43	△9	△875	△106
当期末残高	4,417	△0	148	27	△55	4,536	23,971

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,762	3,130	12,607	△64	19,435
当期変動額					
剰余金の配当			△349		△349
親会社株主に帰属する当期純利益			840		840
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		10		9	20
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	10	491	9	511
当期末残高	3,762	3,140	13,098	△54	19,947

	その他の包括利益累計額						純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	4,417	△0	148	27	△55	4,536	23,971
当期変動額							
剰余金の配当							△349
親会社株主に帰属する当期純利益							840
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							20
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△1,126	2	—	△8	38	△1,093	△1,093
当期変動額合計	△1,126	2	—	△8	38	△1,093	△582
当期末残高	3,291	1	148	18	△16	3,442	23,389

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,683	1,307
減価償却費	101	184
会員権評価損	-	15
損害補償損失引当金繰入額	-	41
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△21	△17
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	53	43
受取利息及び受取配当金	△275	△301
支払利息	36	39
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△67
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,278	4,517
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,614	△73
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,632	△3,587
その他	△983	△170
小計	2,564	1,933
利息及び配当金の受取額	275	300
利息の支払額	△35	△36
法人税等の支払額	△626	△539
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,178	1,657
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△37	△7
有形固定資産の取得による支出	△72	△65
無形固定資産の取得による支出	△162	△230
投資有価証券の取得による支出	△16	△17
投資有価証券の売却による収入	-	79
保険積立金の解約による収入	51	-
その他	△9	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△245	△230
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	-	△30
短期借入れによる収入	30	-
配当金の支払額	△349	△349
その他	△9	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△328	△383
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	△8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,583	1,035
現金及び現金同等物の期首残高	7,553	9,136
現金及び現金同等物の期末残高	9,136	10,171

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会・経営会議が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、化学品専門商社として各種商品及び加工品等の売買を行っており、主な商品群として無機・有機薬品などの化学品と合成樹脂製品・機器類などの機能材に大別されます。

したがって、商品の特性・形態・販売方法等を勘案し、「化学品事業」、「機能材事業」及び「その他事業」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
○前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	連結損益計算書 計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	76,576	25,283	2,460	104,319	—	104,319
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	2,487	2,487	△ 2,487	—
計	76,576	25,283	4,947	106,807	△ 2,487	104,319
セグメント利益	2,587	635	80	3,302	△ 1,926	1,376

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,926百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

○当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	連結損益計算書 計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	74,826	22,581	2,342	99,749	—	99,749
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	2,309	2,309	△ 2,309	—
計	74,826	22,581	4,652	102,059	△ 2,309	99,749
セグメント利益	2,479	524	49	3,053	△ 2,023	1,030

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,023百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

各セグメントに属する主要商品群等

セグメント	主要商品群等
化学品事業	ソーダ製品、ソーダ二次製品、アンモニア系製品、その他無機薬品、塩素系・弗素系・石油系溶剤、石油化学製品、有機ファインケミカル
機能材事業	合成樹脂原料、合成樹脂製品、ガラス繊維、包装資材製品、工事、機器、電子材料、産業用材料、資源リサイクル・処理剤
その他事業	連結子会社7社(ソーダニッカビジネスサポート(株)、曹達日化商貿(上海)有限公司、PT. SODA NIKKA INDONESIA、(株)日本包装、SODA NIKKA VIETNAM CO., LTD.、モリス(株)、(株)日進)、賃貸収入

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	961.12円	936.51円
1株当たり当期純利益金額	44.83円	33.67円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。	同左

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,118	840
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,118	840
普通株式の期中平均株式数(千株)	24,941	24,964

2. 1株当たりの純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	23,971	23,389
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	23,971	23,389
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(千株)	24,941	24,975

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

以上